



## Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2021年3月31日をもって、第73期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

## 当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があり、感染症が国内外経済に与える影響は依然として不透明な状況です。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち高級オーディオ機器事業は、次世代アンプの要素技術の確立と新規カテゴリーへの挑戦でラインナップを拡充し、海外市場を伸ばす事で堅実な成長路線を目指してまいりました。一般オーディオ機器事業は、中高級機のReferenceシリーズ強化と、特色のあるアナログ製品は、すべてのカテゴリーにおいて新製品が競合に比べ常に個性的な価値を持つ事で、収益向上とブランド・イメージの回復を引き続き目指してまいりました。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、世界各国で連携したデジタルマーケティングの強化および多数の戦略的新製品の投入により製品ラインナップを更に拡充いたしました。情報機器事業においては、IoTやAIなどの市場の先端技術への取り組みを行う事により、新しい市場への開拓を進めてまいりました。

当連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により売上収益は減少しましたが、固定費削減効果による本業を表わす個別開示項目前営業利益の増益に加え、確定給付企業年金制度の改定に伴う利益及び確定拠出年金制度への移行による損益、減損損失による個別開示項目の影響により、前期と比較して改善しました。

この結果、当社グループの連結会計年度の売上収益は145億8千9百万円（前期比1.1%減）、営業利益は5億8百万円（前期比77.2%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益3億1百万円（前期2千7百万円）となりました。

配当につきましては、業績に基づいた成果の配分を前提に、連結業績も勘案し、財政状態、事業展開、経営環境を総合的に捉え、安定配当の維持を目指すことを基本方針としております。また企業競争力の維持、強化を目的とした研究開発投資や設備投資等による将来の経営基盤強化と事業拡大のため、内部留保に努めてまいります。当期は未だ十分な内部留保に至っておりませんので、当期も無配やむなきに至りました。株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 次期の業績見通しについて

次期は各国においてワクチン接種が進むと見込まれることから、欧米では第2四半期後半、国内でも第4四半期から緩やかに設備投資関連を含むBtoB事業の改善を見込みます。また次期は、部品入手難が第3四半期まで継続すると見込んでおります。

音響機器事業のうちESOTERICおよびTEACブランドのオーディオ機器については、低迷が続いた米国における販売体制を刷新します。併せて、ブランディングメッセージをグローバルに統一する事で、ハイエンドブランドであるESOTERIC、プレミアムブランドであるTEACともに、個性的なブランドとしてのポ

ジショニングを全ての市場で確立し更なる成長を見込みます。音楽制作・業務用オーディオ機器は、当期に欧米市場を中心にBtoCカテゴリーが大きく伸長し、新規ユーザーの獲得やブランド認知度の向上が進んだことから、次期はクリエイター向けラインナップの拡充により持続的な成長を見込みます。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷したBtoBカテゴリーでは、ポスト・コロナを見据えた新製品およびソリューションの提案を、収束を待たずに積極的に行う事で、第3四半期以降の回復を見込みます。

情報機器事業は、当期に新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を受けましたが、中国やロシアにおいて医用画像記録再生機器が大幅に伸長するなど、地域ごとカテゴリーごとに影響は異なりました。次期も引き続きアジア市場を攻略市場と位置付ける一方で、国内においても計測機器、医用画像記録再生機器それぞれが市場要求に合致した新製品上市を予定している事から、第3四半期以降の業績回復を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

## 連結業績ハイライト（国際会計基準）

	第71期 2019年3月期	第72期 2020年3月期	第73期 2021年3月期
売上収益 (百万円)	15,682	14,745	14,589
営業利益 (百万円)	601	286	508
税引前当期利益 (百万円)	291	69	342
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	51	27	301
基本的1株当たり当期利益 (円)	1.77	0.94	10.45
資産合計 (百万円)	9,316	9,540	9,651
資本金合計 (百万円)	1,320	1,417	1,844

## 音響機器事業

69.0%

売上収益 10,067百万円

(前期比7.4%増)

セグメント営業利益 1,226百万円

(前期比41.3%増)

高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）は、新型コロナウイルス感染症拡大の初期において国内外で販売店の一時閉鎖や都市のロックダウンが影響し一時的に売上は減少しましたが、その後、中国市場を筆頭に海外市場において受注が急激に拡大しました。また新製品を投入したアンプカテゴリーや、音楽配信サービスに対応したネットワークプレーヤーカテゴリー等が順調に推移いたしました結果、全体では増収増益となりました。

一般オーディオ機器（TEACブランド）も、新型コロナウイルス感染症拡大の初期においては、一時的に売上は減少しましたが、その後は日本市場や欧州市場を中心として主にEC販路で巣ごもり需要やテレワーク需要を背景とした販売が好調に推移し、全体としては増収増益となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による巣ごもり需要が継続。従来の音楽制作に加え、動画制作やオンラインミーティングなどの音声収録需要が拡大した結果、BtoC販売は年間を通じて好調に推移しました。BtoB事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の中、公共工事案件における一定需要は確保されましたが、民間案件の設備投資は引き続き先送りになるなど、業務用レコーダー・プレーヤーの販売は低調に推移しました。しかしながら、BtoC製品の販売が売上を大幅にけん引した事により、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては増収増益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

## 情報機器事業

27.3%

売上収益 3,977百万円

(前期比16.3%減)

セグメント営業利益 123百万円

(前期比72.9%減)

航空機搭載記録再生機器は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内外の顧客への出荷が低調に推移したことから減収減益となりました。計測機器は、データレコーダーではターゲット市場である鉄道、自動車、重工業分野で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く予算の凍結や投資延期のため減収となりました。

一方センサー関連においては半導体製造装置メーカー及びその他装置メーカーへの販売が好調に推移し増収となりましたが、計測機器全体としては減収となりました。

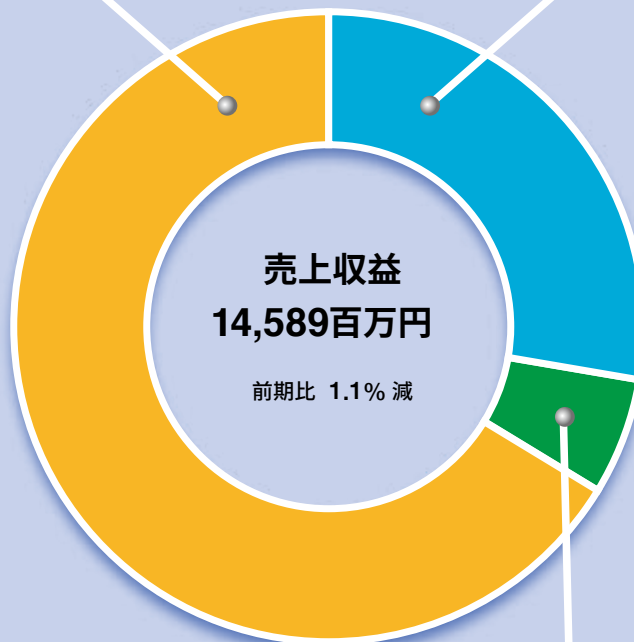
医用画像記録再生機器は、国内消化器内視鏡向けレコーダーはクリニック向けの販売は堅調に推移しました。手術画像用レコーダーは海外ではアジア、特に中国向け出荷が好調、欧州は堅調でしたが、米国での出荷が伸びず低調に推移しました。国内では手術画像管理システムとのソリューション提案など新たな取り組みによる市場開拓が進んだものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により販売減となり、医用画像記録再生機器全体では前年同期比で減収となりました。

ソリューションビジネスは、受託開発案件が低調に推移したことから、減収となりました。一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー  
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC



## その他事業 3.7%

売上収益 544百万円

(前期比12.3%減)

セグメント営業利益 22百万円

(前期比53.1%減)

- EMS事業

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当期 2021年 3月31日現在	前期 2020年 3月31日現在
<b>■ 資産</b>		
流動資産	7,475	7,052
現金及び現金同等物	1,869	1,479
営業債権及び その他の債権	2,844	3,218
棚卸資産	2,454	2,081
その他の流動資産	307	274
非流動資産	2,177	2,488
有形固定資産	1,810	2,099
無形資産	125	159
その他の投資	3	6
繰延税金資産	22	41
その他の金融資産	148	152
その他の非流動資産	68	30
<b>資産合計</b>	<b>9,651</b>	<b>9,540</b>

Point 1 連結財政状態計算書

**< 資産合計 >** 現金及び現金同等物の増加391百万円、棚卸資産の増加373百万円、営業債権及びその他の債権の減少374百万円、有形固定の減少289百万円となり、前期末と比較し、111百万円増加となりました。

**< 負債合計 >** 営業債務及びその他の債務の増加567百万円、長期未払金の増加1,149百万円、企業年金制度変更の影響による退職給付に係る負債の減少1,974百万円となり、前期末と比較し、316百万円減少となりました。

Point 2 連結損益計算書

**< 売上収益 >** 音響機器事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠り需要から増収となりましたが、情報機器事業においては販売が低調に推移したことから、売上収益は前期末に比べ1.1%減少となりました。

**< 営業利益 >** 確定給付年金制度の改定に伴う利益及び、確定拠出年金制度への移行による損益、減損損失による個別開示項目の影響により、営業利益は前期末に比べ7.2%増加となりました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

**< 営業活動によるキャッシュ・フロー >** 当期における主な内訳は、プラス要因として、長期未払金の増加1,149百万円、マイナス要因として退職給付に係る負債の減少1,846百万円です。

**< 財務活動によるキャッシュ・フロー >** 当期における主な内訳は、プラス要因として長期借入金による収入450百万円、マイナス要因として長期借入金の返済による支出184百万円、リース債務の返済による支出362百万円です。

(単位:百万円)

	当期 2021年 3月31日現在	前期 2020年 3月31日現在
<b>■ 負債</b>		
流動負債	5,872	5,499
借入金等	2,666	2,802
リース負債	362	336
営業債務及びその他の債務	1,447	880
引当金	623	596
未払法人所得税	34	41
その他の流動負債	741	845
非流動負債	1,935	2,623
借入金等	341	51
リース負債	337	520
退職給付に係る負債	15	1,989
長期未払金	1,149	0
引当金	42	41
繰延税金負債	13	9
その他の非流動負債	38	13
<b>負債合計</b>	<b>7,807</b>	<b>8,123</b>
<b>■ 資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,844	1,323
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	16	36
自己株式	△ 121	△ 121
利益剰余金	1,586	1,158
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	295	181
非支配持分	0	94
<b>資本合計</b>	<b>1,844</b>	<b>1,417</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>9,651</b>	<b>9,540</b>

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2020年4月1日~ 2021年3月31日	前期 2019年4月1日~ 2020年3月31日
売上収益	14,589	14,745
売上原価	8,331	8,272
売上総利益	6,258	6,473
販売費及び一般管理費	5,890	6,225
その他の損益	14	38
個別開示項目前営業利益	381	286
個別開示項目	127	0
営業利益	508	286
金融収益	7	4
金融費用	173	222
税引前当期利益	342	69
法人所得税費用	56	37
当期利益	286	32
当期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	301	27
非支配持分	△ 15	5

要約連結持分変動計算書 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	その他の資本の構成要素	合計		
当期首残高	3,500	36	△ 121	1,158	△ 3,430	181	1,323	94	1,417
当期包括利益				301			301	△ 15	286
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				127		△ 127			
連結子会社に対する所有者持分の変動		△ 21					△ 21	△ 79	△ 99
所有者との取引等計		△ 21	△ 0	127		△ 127	△ 21	△ 79	△ 100
当期末残高	3,500	16	△ 121	1,586	△ 3,430	295	1,844		1,844

\*連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して、表示しております。



要約貸借対照表

(単位:百万円)

	当期 2021年 3月31日現在
<b>■ 資産の部</b>	
流動資産	4,597
現金及び預金	1,266
受取手形	455
売掛金	1,198
商品	671
原材料	442
前払費用	98
関係会社短期貸付金	106
未収入金	266
その他	109
貸倒引当金	△ 17
固定資産	8,051
有形固定資産	1,468
無形固定資産	30
投資その他の資産	6,553
資産合計	12,649

(単位:百万円)

	当期 2021年 3月31日現在
<b>■ 負債の部</b>	
流動負債	7,426
支払手形	286
買掛金	254
短期借入金	2,510
関係会社短期借入金	3,223
1年内返済予定の長期借入金	76
リース債務	9
未払金	511
未払費用	189
未払法人税等	32
前受金	38
預り金	18
賞与引当金	145
製品保証引当金	38
返品調整引当金	32
未払消費税等	59
その他	0
固定負債	1,391
負債合計	8,818
<b>■ 純資産の部</b>	
株主資本	3,830
資本金	3,500
資本剰余金	54
利益剰余金	398
自己株式	△ 121
評価・換算差額等	0
純資産合計	3,830
負債及び純資産合計	12,649

要約損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	9,782
売上原価	5,881
返品調整引当金繰入額	△ 6
売上総利益	3,906
販売費及び一般管理費	3,923
営業損失 (△)	△ 16
営業外収益	151
営業外費用	194
経常損失 (△)	△ 59
特別利益	510
特別損失	93
税引前当期純利益	357
法人税、住民税及び事業税	△ 27
当期純利益	384

要約株主資本等変動計算書（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	
当期首残高	3,500	54	13	△ 121	3,446	—	3,446
当期変動額							
当期純利益			384		384		384
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						—	—
当期変動額合計	—	—	384	△ 0	384	—	384
当期末残高	3,500	54	398	△ 121	3,830	—	3,830

※単体財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて、表示しております。



US-1x2HR  
US-4x4HR  
US-2x2HR

TASCAM

USBオーディオインターフェース

## US-4x4HR、US-2x2HR US-1x2HR

TASCAM US-HRシリーズは、2021年1月に発売された最大24bit/192kHzのオーディオフォーマットに対応したUSBオーディオインターフェースです。透明性が高く、低ノイズが定評のTASCAMオリジナルマイクプリアンプ Ultra HDDAの採用に加え、従来モデルからオーディオ回路のブラッシュアップを行い、TASCAMのポリシーである「原音再生の追求」をより高解像度に進化させました。

さらに、世界中の多くのユーザーに支持されているソフトウェアをバンドルしユーザーの音楽制作フローを強力にサポートします。

US-HRシリーズは、パソコン・スマートフォンと使用すれば、ポッドキャストや生配信のインターフェースとしてもお使い頂けます。生配信時にパソコンからの音声を配信ソフトウェアに戻すことができるループバック機能を搭載し、音声のステレオ/モノラル切替も可能です。世界的に幅広く使用されているOBSにも対応しています。

TASCAMは経験と実績を活かして、あらゆる「音」に真摯に向き合い製品開発に努めてまいります。



UD-701N  
AP-701

TEAC

ステレオパワーアンプ

## AP-701

USB DAC/ネットワークプレーヤー

## UD-701N

Referenceシリーズ初のフルサイズセパレートコンポ「700シリーズ」として、デュアルモノラル構成のステレオパワーアンプ『AP-701』と、新開発のオリジナル・ディスクリットDACを搭載したUSB DAC/ネットワークプレーヤー『UD-701N』を2021年3月に発表致しました。

『AP-701』は、パワーアンプモジュールに専用設計のHypex社製Ncoreを2基搭載した、デュアルモノラル構成のパワーアンプです。左右独立の大容量トイダルコアトランスとディスクリットバッファアンプ、そして2基のNcoreモジュールにより、入力から出力まで完全なデュアルモノラル構成を実現。スピーカー本来の性能を引き出します。

『UD-701N』はUSB DAC機能を核に、ネットワークプレーヤー、アナログプリアンプ、ヘッドホンアンプなど、様々な機能を高次元で融合。新開発のTEAC ΔΣ(デルタシグマ) ディスクリットDACを搭載し新たな高みに到達したTEACのフラッグシップDACです。

発売前にもかかわらず、新しい要素を組み込んだこの新ラインナップに、お客様やオーディオ店の皆様から高くご支持をいただいております。この新しいReference700シリーズを筆頭に、TEACブランドは、プレミアムオーディオブランドとしてユニークな製品を提供して参ります。



ESOTERIC

Master Clock Generator

## Grandioso G1X

新開発のESOTERICオリジナル・クロック・モジュール「Master Sound Discrete Clock」を搭載し、マスタークロックジェネレーターのフラッグシップ機となる『Grandioso G1X』を2021年4月より販売開始致しました。

デジタルプレーヤーの潜在的な音楽再生能力を余すところなく引き出す、マスタークロック。従来から更に一歩進んだ音楽表現力の可能性を追求すべく、「Master Sound Discrete Clock」を開発。航空宇宙産業用に開発された信頼性の高いクリスタルをベースに、音楽再生専用のクリスタル「ESOTERIC SC1」を完成させ、発振回路から核となるクリスタル発振子に至るまで、完全なカスタムメイドです。

細部に至るまで徹底したこだわりを注ぐことで、豊かな音楽再生能力を新たに獲得。音楽の感動は、かつてないレベルに深まります。



TEAC

メディカルビデオレコーダー

## UR-X

2020年11月より販売開始した『UR-X』は、優れた動画記録機能やパネルの操作性など、手術の現場に必要な機能を凝縮したティアック最新のメディカルビデオレコーダーです。

手術中のスムーズな手技をありのまま捉える1080p/60fpsでの高解像度且つ鮮明な動画記録を実現。

多忙な医療現場のスタッフの負担を少しでも軽減するため、迷いなく動画を記録できるシンプルかつスマートなユーザーインターフェースを採用いたしました。

フロントパネルには記録中の映像の他、入力されている映像信号情報や記録メディアの残量が表示されるため、常に記録状況を確認することができます。

また、多くの動画ファイルを患者情報と共に効率良く管理し運用していただくため、PC1台から導入可能な手術映像記録システム“SURGE ONE v2”へとネットワークを介しての拡張を可能にしています。

全ての手術動画を記録メディアで管理することなく、システム上で管理するスマートな手術映像運用をご提供いたします。

会社の概要

商号 ティアック株式会社  
(TEAC CORPORATION)  
本社 〒206-8530  
東京都多摩市落合一丁目47番地  
設立 1953年8月26日  
資本金 35億円  
事業年度 4月1日～翌年3月31日  
代表者 代表取締役社長 英 裕治  
従業員数 単体 238名 連結 599名

● 国内拠点

ティアック株式会社  
本社 [東京都]  
EMCセンター [埼玉県]  
大阪営業所 [大阪府]  
名古屋営業所 [愛知県]  
エソテリック株式会社 [東京都]  
ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]  
ティアックカスタマースソリューションズ株式会社 [埼玉県]  
ティアックオンキョーソリューションズ株式会社 [東京都]

● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]  
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]  
TEAC UK LTD. [英国]  
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]  
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]  
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]



■ 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ■ 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。 ■ 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

役員 (2021年6月18日現在)

代表取締役社長 英 裕治  
取締役 野村 佳秀  
取締役(監査等委員) 吉村 邦彦  
取締役(監査等委員) 原 琢己  
取締役(監査等委員) 坂口 洋二

株式の状況

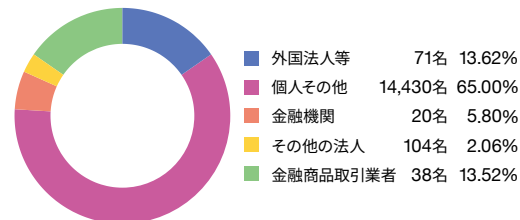
発行可能株式総数 … 40,000,000株  
発行済株式の総数 … 28,808,533株  
(自己株式123,180株を除く)  
株主数 ……………… 14,663名

大株主 (上位10名)

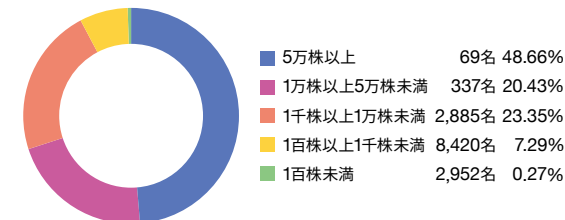
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	1,210	4.20
楽天証券株式会社	1,120	3.89
JPMBL RE BNP PARIBAS ARBITRAGE SNC COLL EQUITY	770	2.67
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	599	2.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	588	2.04
株式会社SBI証券	583	2.02
山下 良久	556	1.93
松井証券株式会社	474	1.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	443	1.54
木村 昌二	400	1.39

※ 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。  
※ 持株比率は、自己株式(123,180株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
配当金受領株主確定日 3月31日  
単元株式数 100株  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日網町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
(郵送先) 〒137-0801 新東京郵便局私書箱第29号  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について  
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座で所有の株主様  
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座で所有の株主様  
(証券会社等にお取引口座がない株主様)  
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711<通話料無料>)にお問合せください。

例:  
株主様が100株をご所有の場合



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地  
TEL 042-356-9100 (代表)  
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>